

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月10日

【評価実施概要】

事業所番号	3291500035		
法人名	株式会社 あゆみ		
事業所名	グループホーム あゆみの杜		
所在地	島根県飯石郡飯南町頓原1070 (電話) 0854-72-9373		
評価機関名	NPOしまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白濁本町43番地		
訪問調査日	平成20年3月5日	評価確定日	平成20年3月18日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

小規模多機能型の事業所と温泉施設を併設する開設1年目のホームである。ホーム内は地熱を利用した床暖房になっていて、利用者は快適に過ごしている。高齢者ケアに携わってきた職員が多く、ゆったりとした支援を行う中で状態の改善した利用者もあり、施設への入所待ちをしていた家族が引き続きホームでの生活を望まれるという事例もある。管理者は利用者や家族の希望に柔軟に対応する姿勢を持ち、計画的に質の向上に取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	今回の自己評価に対する取組み状況 (関連項目: 外部4) 今回が初めての自己評価で、全職員で余裕を持って評価に取り組むことができず管理者と一部の職員で評価を行った。今後、評価をもとに職員全員で改善課題に取り組もうと話し合っている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み (関連項目: 外部4, 5, 6) 利用者の日常生活の様子やホームの活動、避難訓練などについて話している。今年一年間はグループホームを理解してもらうことに力を入れてきた。意見交換の中でドライブの時の安全確認について意見が出され、ケアに活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8) 家族の訪問時には意見を聞き出すことに努めているが、開設間もないことからまだ家族からの意見が少なく、運営に反映するまでには至っていない。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3) 文化祭、とんど祭りなどの地域行事や、保育所の運動会などに積極的に参加し交流を深めている。併設の温泉施設に設置している地域高齢者サロンや老人クラブと今後どのように連携していくのか模索している。

【情報提供票より】 (20年2月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	16 人	常勤	12 人, 非常勤 4 人, 常勤換算12.5人

(2) 建物概要

建物構造	準耐火木造 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	19,000 円
敷金	有 (円) ○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) ○無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 500 円
	夕食	600 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (2 月 20 日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	70 歳	最高	102 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	飯南病院 ・ 和田医院
---------	-------------

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、という開設当初からの基本的な姿勢があり、地域密着型サービスとしての明確な理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は理念について職員に問うたり、会議の中で話し合いをするなど、日頃のケアや言葉かけが理念に沿ったものかどうか職員と確認し合っている。	○	入居時に家族に説明する文書はわかりやすく丁寧に作成されているが、契約書などに一部理念にそぐわない表現がみられるので検討を望みたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	祭りなどの地域行事に参加したり町内4ヶ所の保育所と積極的に交流を図っている。ケーブルテレビで行事の紹介をし情報を発信したり、地域の有志によるグループとの交流も行っている。	○	今後、老人クラブとの交流や併設の温泉施設にあるサロンをとおしての交流も考えられているので期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初めての自己評価であり、職員全員で余裕を持って取り組めず管理者と一部の職員で評価を行った。今後、課題を共有しながら改善に取り組むことを全職員で確認しあっている。	○	今後は自己評価を年間計画に位置づけ、職員全員で話し合いながら取り組まれることを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回開催し、利用者の様子やホームの活動を報告したり意見交換を行っている。出された意見はサービス向上に活かしている。この一年間はグループホームを理解してもらうことに力を入れてきた。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者の入居時に情報交換をしたり、困難事例などを相談するなど連携に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の訪問時に報告したり必要時には電話連絡をしている。定期的なたよりの発行はしていないが現在検討中である。	○	広報誌や、訪問時以外にも一人ひとりの状況が伝えられるようにたよりの発行が検討されているので、頑張ってもらいたい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時には意見や要望を聞くことに努めている。開設一年目であり、家族にはホームに入居できたことの安堵感がありまだ意見が少ない。	○	管理者はこれから少しずつ意見を出してもらいたいと考えているので期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的には異動をしない考えがある。小規模多機能型居宅介護事業所と併設しているが、居宅介護事業所の職員もグループホームの仕事にも携わり、日頃から利用者とも顔馴染みになっている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度は外部研修には参加できなかったが、介護技術を身につけたりグループホームを理解するために内部研修を実施した。	○	職員の経験や段階に応じた研修ができるように、さらに積極的に取り組んでいただきたい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、町内全体の介護保険事業所の会議やグループホーム部会に出席し情報交換や勉強会を行っている。	○	職員レベルでの相互訪問などとおして、交流の機会を増やしていただきたい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ケアマネージャーが家庭や入院先などを何度も訪問し、利用者や家族と話し顔馴染みの関係を築いている。併設されている小規模多機能型事業所の泊まり機能を利用して馴染みながら利用を始めることができる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯物の干し方やたたみ方などの生活の技を教わったり、利用者のこれまでの生き方に思いを馳せながら互いに支え合う関係づくりに努めている。	○	さらに利用者に寄り添い利用者と生活を共にする中で、「介護する人、される人」を意識しない自然な関係を築いていただきたい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中から希望を聞いたり、利用者の居室でゆっくりと話を聞き思いの把握に努めケアに活かしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネージャーが立案し家族にみてもらっている。職員は計画に基づいてケアを行う中で意見や気づきを出している。	○	介護計画作成が、チームとしての取り組みになることを期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1ヶ月に一回、ケアマネージャーが中心になって計画の内容について見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の宿泊や夜間の面会、必要時の受診支援など、利用者や家族の希望に柔軟に対応する体制が作られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週一回、協力医師により往診が行われている。協力医院以外にも皮膚科の医師による出張診療も行われていて、希望に沿った安心した受診支援がされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期にもできるだけホームで対応したいという考えがあり、利用者や家族の希望にそえるような体制をとろうという話し合いが行われている。特殊浴槽も準備されている。	○	今後具体的に検討することが考えられているので、関係者とも話し合いを重ねながら体制づくりをされることを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄の誘導は利用者のサインを見逃さないようにしてさりげなく行っている。利用者一人ひとりを尊重した声かけや対応を心がけているが、時に指示的な声かけをすることがある。	○	常に利用者の尊厳を意識しながら、声かけなどの振り返りを行っていただきたい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを大切にしゆったりとケアをしている。食事の後も利用者はホールでゆっくり過ごしていた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事づくりは主に職員がしていて、利用者は食器のかたづけや芋の皮むきなど、力量に合わせて行っている。調査日当日は利用者と一緒に食事をする職員がいなかった。	○	おやつ作りや年間をとおして楽しい食事場面の工夫をしているが、日々の生活の中で、職員と利用者が一緒に食事を作ったり同じ物を食べる機会を増やしていただきたい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	事業所が併設している炭酸温泉の湯を使い、利用者の希望にあわせた入浴支援をしている。希望があれば夜間入浴ができる体制がある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物干し、食器の片づけなど、利用者の力を活かして行っている。琴や習字、魚釣りなど、楽しみや気晴らしができる支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物、ドライブなど、できるだけ戸外に出かける支援をしている。外出の機会の少ない人にも声かけをして近くの保育所まで出かけている。	○	外出は大きな楽しみの一つなので、さらに希望に沿った個別の支援が行われることを期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は鍵をかけていない。外出願望のある人には、職員同士が連携して見守りを行ったり同行するなどして対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と合同で本番さながらの避難訓練を実施し、非常時の対応や心構えなど多くのことを学んだ。	○	さらに、飲料水や食料品の備蓄なども検討していただきたい。避難訓練に地域の人にも参加してもらうことも考えられているので実現に期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特に食事や水分摂取量の把握の必要な人は細かく記録している。ペーストや刻みなど、状態にあわせた食事形態にしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆったりとしたホーム内は地熱を利用した床暖房で快適に過ごすことができる。浴槽は小型にしている利用しやすい。生活感のある物品が少ないが管理者はこれからの課題にしている。	○	生活用品や活動に必要な物品を準備したり、広い空間の使い方を工夫するなど、今後に期待したい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	炬燵やお茶道具、化粧品、魚拓など、馴染みの物品を持ち込み利用者の状態や思いにあわせた居室づくりをしている。利用者によっては持ち込みの少ない居室もある。	○	引き続き家族の協力を得ながら、家庭のように自分の大切な物に囲まれて生活できるような環境づくりをお願いしたい。

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。